

『ね、ねえ、お願い…
もっと奥までイジって♡』

『どうしたの？野中さん
おっさんなこと…』

『一度、お尻でシたせいで
すぐ疼くようになっちゃたの♡
集中して授業が受けられるように
ね♡お願い♡』



『そ、そんな…
だめだよ野中さん好きでもない人と
そんなことするなんて』

『君、いつも私のお尻ばかり見てるでしょ♡
ほんとほいまずぐ挿入したいのわかるんだから♡』

『ほらほら♡早く君のガチガチ勃起おちんぽで
私のケツ穴おまんこめちゃくちやに犯して♡♡♡』

♡♡♡

♡♡♡



『ひ……ひら、寝顔がカッコイイ！』

カッコイイ



あんなに可愛いのよ



『ああ、そうだよ、ずっとお前のデカケツを
犯してやりたかったんだッ！
オラッ、お望みのおちんぽでケツアクメしろッ!!』



『ふく、スツキリしたく
じゃあ次の休み時間からもよろしくね
野中さん』













